

説教：神の恵みの栄光のために  
キリストの二つの神秘と神の御座における大胆な祈り

OICの皆さん、おはようございます。父なる神の家によろこそ。

今日は、使徒パウロが書いたエペソ書が続けます。先週私たちは、パウロがエペソの信徒たちに、したがってすべてのクリスチャンたちに、神の視点に生きるようにどのように指示したかを見ました：すべてのクリスチャンの過去、現在、そして未来は、神の恵みの栄光によるものであり、神の栄光のためにあるのです。今日、私たちは、パウロが聖霊によって特別な油注ぎを受け、異邦人に関するキリストについて謎であった知識をどのように与えられたかを見ます。

エペソ第3章を読んでいきましょう。

エペソ 3.1-2

こういうわけで、あなたがた異邦人のために、私パウロはキリスト・イエスの囚人となっています。

あなたがたのために私に与えられた神の恵みの務めについては、あなたがたはすでに聞いたことでしょう。

AD60年、パウロはローマの獄中から、エペソ教会とアジアの諸教会に宛てたこの手紙を書きました。ローマ軍の厳しさを考えると、彼は自宅軟禁状態で、かなり自由がありました。面会する権利に加え、手紙を書くこともできました。

パウロが獄中にいたのは、異邦人の救いを説いていたためにエルサレムのユダヤ人を怒らせたからです。パウロが逮捕された特別な理由は、異邦人とパウロを憎むユダヤ人たちが街を扇動したことに始まります。その後、この町のローマ大尉は、彼の命を救うために彼を逮捕しました。

これは（使徒の働き 21.27-28）に記されています。

ところが、その七日の期間が終わろうとしていたとき、アジアから来たユダヤ人たちは、パウロが宮にいるのを見ると、群衆をみな扇動して、彼に手をかけ、

**28** こう叫んだ。「イスラエルの皆さん、手を貸してください。この男は、民と律法とこの場所に逆らうことを、いたるところで皆に教えている者です。そのうえ、ギリシア人を宮の中に連れ込んで、この神聖な場所を汚しています。」

こうして、彼は“あなたがた異邦人のために”獄中にいたのです。

しかし、パウロが投獄された“全体像”は、1節と2節をうまく組み合わせたJBフィリップスの言い換えの表現から明らかになると私は信じています。

### エペソ 3. 1-2 (JBP)

この大義のために、私パウロは、あなた方異邦人のためにキリストの囚人となったのです。

ユダヤ人がパウロを攻撃する背後にある神の理由は、異邦人に対する神の計画における「大義」です。パウロは、知識として今明かされたこの謎を、次の節で説明し始めたいです。その理由とは？ 神の理由とは何か？ パウロの逮捕の詳細の背後にあるその理由とは、パウロが前の節、特に（エペソ 2. 16）に書いたように、キリストにおけるユダヤ人と異邦人の一致です。

### エペソ 2. 16

二つのものを一つのからだとして、十字架によって神と和解させ、敵意を十字架によって滅ぼされました。

キリストの十字架上の死の力は、罪人たちに赦しを与えただけでなく、かつての社会的敵対者であったユダヤ人と異邦人との間の団結をももたらしたのです。エペソ 3・2 でパウロはこう書いています。

### エペソ 3. 2

あなたがたのために私に与えられた神の恵みの務めについては、あなたがたはすでに聞いたことでしょう。

英語では通常、*administration* という単語はビジネスのリーダーに対して使われます。これは、パウロがイエスに面と向かって呼ばれ、文明化された異邦の国々で指導的伝道者となったことと符合します。教会におけるリーダーシップとビジネスにおけるリーダーシップは似ている部分もありますが、もちろん大きな違いもあります。この釈義のために、ギリシャ語新約聖書を見てみよう。

### エペソ 3. 2(ギリシャ語言語訳)

あなた方のために私に与えられた神の恵みの執り成しについて聞いたと思います。

ギリシャ語の原語 οἰκονομία (oikonomia) に由来する (NIVUK) *administration* という単語は、家庭を管理することを意味します。

注：私はパウロの召命についてより詳しく説明することで、これらの同義語である管理、執政、聖職者としての任務の適切な意味を私たちに明らかにし、この釈義の後半でより良い同義語を見つけようとしています。

パウロは、自分の管理職あるいは聖職者としての使命について、二つの点を指摘しています。第一に、パウロは自分の職務は神からの賜物、つまり、あなたがたのために私に与えられたものだと言っています。

第二に、パウロは、自分の責務とは、あなたがたのために私 {パウロ} に与えられた神の

**恵みを管理**することだと言っています。パウロは、自分の管理は諸教会のクリスチャンに対してではなく、**神の恵みに対して**だと言っていることに注意してください。

**使徒による権威と管理**。この副題は、パウロと御霊が（エペソ 3.2）で言いたかったことの意味を汲み取ろうとする私の試みに焦点を合わせる助けになると思います。

エペソ人への手紙のような教会に対して権威を行使する際、彼はそれぞれの状況における聖霊の力に敏感でした。そのため、パウロはで次のように言っています。

### 1 コリント 15・10

ところが、**神の恵み**によって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの**神の恵みは無駄にはならず**、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。働いたのは私ではなく、**私とともにあった神の恵み**なのですが。

この姿勢は、彼がイエスの異邦人への使徒としての権威を理解していたことを説明している。権威とは、彼がこれらの教会のすべての牧会者たちの上に立ち、細部にわたって活動する牧会者であるという意味ではなかったのです。しかし、彼は神から与えられた権威を大胆に用いて、訪問したこれらの教会の教理を正し、メンバーの罪を懲らしめました。彼は実際にこれらの教会の多くを建てたり、始めたりしたのだが、その後、誰も福音を宣べ伝えていないところに伝道するために移動しながら、他の牧師たちに牧師の職務を割り当てたのです。

では、ブルース牧師、**大胆な権威と神の恵みの管理人**の違いは何でしょうか？先に述べたギリシャ語の οἰκονομία（オイコノミア）は、一般的な日常的な意味では**家庭の管理**という意味です。この日常的なオイコノミアの意味に基づいて、私はこの難しい解釈を最良の意味に解釈しました。パウロは、復活の主との親密な関係と聖霊の油注ぎを受けていたので、自分の宣教の使命は、**神の家という家庭**を管理することだと感じていたのです。

### 要点#1

世俗的なビジネスにおいて賢明なマネジャーは、そのビジネスの目標を達成するために、個人があまり束縛されることなく自由に能力を発揮したときに、最高の結果が生まれることを知っています。まあ、人間の本性のこの事実は、神の方法の一部です。結局のところ、人間の性質も神の作られたものであり、生まれ変わったクリスチャンもやはり人間なのです。これが可能な限りのパウロの姿勢でした。

神の恵みを伝えるという大きな重荷を背負ったパウロの謙遜さは、彼の宣教の旅に見られます。私たちは、聖霊がパウロをアジアや他の地方で宣教したいという彼の心からの願いから方向転換させることができたのを見ています。この“聖霊に支配された大胆さ”は、使徒の働き 16.6-10に見られるように、パウロの中でイエスによって育まれている。

### 使徒の働き 16.6-10

それから彼らは、アジアでみことばを語ることを聖霊によって禁じられたので、フリュギ

ア・ガラテヤの地方を歩いて行った。

こうしてミシアの近くまで来たとき、ビティニアに進もうとしたが、イエスの御霊がそれを許されなかった。

それでミシアを歩いて、トロアスに下った。

その夜、パウロは幻を見た。一人のマケドニア人が立って、「マケドニアに渡って来て、私たちに助けてください」と懇願するのであった。

パウロがこの幻を見たとき、私たちはただちにマケドニアに渡ることにした。彼らに福音を宣べ伝えるために、神が私たちに召しておられるのだと確信したからである。

これは、あまりにも多くのクリスチャンがほとんど“神格化”してしまっている使徒についての、愛すべき主による非常に力強い歴史と規律です。パウロの偉大さは、彼の謙遜さと一致していました。ビジョンを持ち、罪人の救いをもたらす偉大な戦略を持つ人は、他人がノーと言うと簡単に動揺し、怒ることがあります。これには、神がノーとおっしゃる場合も含まれます。聖霊の賜物とパウロの献身 **ローマ 8.14** に書かれているように、神の御霊に導かれる者は、神の子なのです。パウロはいつの間にか、聖霊に導かれることが、世界を伝道する戦略の成功よりも重要であることを学びました。いったんイエスの霊が自分の計画に同意していることを自由に知ることができたら...それから彼はとても大胆になったのです！彼はまた、従順の範囲内で自分の計画した戦略を自由に使うことができるようになりました。彼は常に伝道し、大都市に教会を建てることを目指したのです。これが、まず神の恵みの管理者であることの意味であり、次にその恵みが神の家族—教会に適用されるのです。

## 要点#2

パウロは、世界に福音を伝える戦略の成功よりも、聖霊に導かれることの方が重要であることを、どういうわけか学びました。

親愛なる OIC クリスチャンの皆さん、私も皆さんのために祈ります。これは、皆さんがイエスと共に栄光に向かって歩み続けるための自信の岩です。

新約聖書の歴史には、自分たちの行動を正すためにパウロの権威を疑った教会のグループがいくつか記録されています。パウロのコリント教会への第二の手紙には、そのことがはっきりと記されています。次の箇所にもあるように、パウロはコリント教会を建てた、つまり始めたのです。

## 使徒の働き 18.11

そこで、パウロは一年六か月の間腰を据えて、彼らの間で神のことばを教え続けた。

しかし、しばらくしてパウロはこの教会にこう言わなければなりませんでした。

## II コリント 10.1-5

さて、あなたがたの間において顔を合わせているときはおとなしいのに、離れているとあなたがたに対して強気になる私パウロ自身が、キリストの柔和さと優しさをもってあなたが

たにお願いします。

私たちが肉に従って歩んでいると見なす人たちに対しては、大胆にふるまうべきだと私は考えていますが、そちらに行ったときに、その確信から強気にふるまわないですむように願います。

私たちは肉にあって歩んではいても、肉に従って戦ってはいません。

私たちの戦いの武器は肉のものではなく、神のために要塞を打ち倒す力があるものです。私たちは様々な議論と、神の知識に逆らって立つあらゆる高ぶりを打ち倒し、また、すべてのはかりごとを取り押さえて、キリストに服従させます。

ここでパウロは、自分たちの最初の牧師であった後、神が油注がれた霊に満ちた使徒としてパウロに与えた力の真の姿を見ないクリスチャンたちを相手にしていました。これらのクリスチャンたちは、パウロが聖霊から影響を与えていることに鈍感で、自分たちには**神が、自分たちには悪魔が反対している**と、パウロが世俗的だと非難していました。

さて、**神秘**とは何でしょうか？ パウロはまず、エペソ人への手紙の中で、イエスと彼の個人的な交信を思い出しています。

### エペソ 3. 3-5

先に短く書いたとおり、**奥義**が啓示によって私に知らされました。

それを読めば、私がキリストの奥義をどう理解しているかがよく分かるはずです。

この奥義は、前の時代には、今のように人の子らに**知らされていません**でしたが、今は御霊によって、キリストの聖なる使徒たちと預言者たちに啓示されています。

パウロは、この異邦人クリスチャンたちに、**啓示によってイエスに知らされたこの神秘**がイエスにとってどれほど重要であるかを理解させるために、ここでゆっくりと話を進めています。パウロは、彼らに隠された自分の知識によって、この謎を解き明かすという唯一無二の役割を担っていたのです。パウロは、エペソ **3 : 4**において、キリストの神秘に対する私 {パウロ} の洞察を理解できるように彼らに教えようとしています。パウロは、旧約聖書の預言者たちがユダヤ人と異邦人の一致について語っていることを知っていました。もしかしたら、自分たちの預言者に本当に耳を傾けていた数少ないユダヤ人は、イザヤの次の言葉を詩的あるいは寓意的なものでしかなく、文字通りのものではないと思っていたかもしれません。

預言者イザヤに対して、

#### イザヤ 49. 6

主は言われる。「あなたがわたしのしもべであるのは、ヤコブの諸部族を立たせ、イスラエルのうちの残されている者たちを帰らせるという、小さなことのためだけではない。わたしはあなたを国々の光とし、地の果てにまでわたしの救いをもたらす者とする。」

### 謎の神秘？

この箇所では明らかにされています。

### エペソ 3.6

それは、福音により、キリスト・イエスにあって、異邦人も共同の相続人になり、ともに同じからだに連なって、ともに約束にあずかる者になるということです。

#### 二つの神秘：救いとユダヤ人と異邦人の一致

パウロはエペソ人への手紙のこの箇所で、**救いの神秘**、つまり福音について語っているではありません。ユダヤ人たちは、いつかユダヤ民族にメシアが来ると信じていました。救いの福音の謎の詳細は、「何 (WHAT)」よりも「誰 (WHO)」であった。ユダヤ人たちは、いつかメシアが来ると思っただけです。しかし、いつ、誰が、どのように？使徒ペテロは次のように書いています。

#### I ペテロ 1.10-11

この救いについては、あなたがたに対する恵みを預言した預言者たちも、熱心に尋ね求め、細かく調べました。

彼らは、自分たちのうちにおられるキリストの御霊が、キリストの苦難とそれに続く栄光を前もって証ししたときに、だれを、そしてどの時を指して言われたのかを調べたのです。

ユダヤ人も異邦人も、この一致の神秘を予期していませんでした。ユダヤ人にとって、これは十字架につけられたメシアの王と同じくらいの衝撃でした。**エペソ 3.6**にあるように、**イエスの十字架によって**、異邦人は今やイスラエルとともに相続人となり、ひとつのからだの一員となり、キリスト・イエスにある約束をともに分かち合う者となったのです。アブラハム、イサク、ヤコブの神の家族に受け入れられるためには、すべての罪人がそうでなければならないように、汚れた種族である異邦人もイエスの血で洗われるのです！パウロは今、人の人生に対する神の召命は、その人自身よりも偉大であると宣言しています。

#### エペソ 3・7

私は、神の力の働きによって私に与えられた神の恵みの賜物により、この福音に仕える者になりました。

そして、自分自身をしもべと呼ぶことは、この箇所と非常に似ています。(エペソ 3.2/ギリシャ語原語訳) あなたがたのために私に与えられた神の恵みの**管理**について聞いていると思います。ギリシャ語 (エペソ 3.2) からの私の釈義では、**オノイコミア**の対義語として、**家庭の経営**が使われている。これは、「あなたがたは、**異邦人のために私に与えられた神の恵みの管理**について聞いたと思います。」と読めるだろう。

そして、こう書かれています。

#### エペソ 3.8

すべての聖徒たちのうちで最も小さな私に、この恵みが与えられたのは、**キリストの測り知れない富**を福音として異邦人に宣べ伝えるためであり…あるいは、**欽定訳聖書 21 版**では、

「キリストの測り知れない富」と書かれています。

私は個人的に、イエスに従ってこの日本に来たときにイエスからいただいた励ましの約束のいくつかを覚えています。「**2倍もらえますよ!**」などです。私はイエスに、「主よ、あなたは数学が苦手なのですね!」と言いました。私の好きな19世紀イギリスの説教者の一人が、彼のディボーションの中で非常に似たようなことを言っているのを見て、私は祝福されています。それは、チャールズ・スポルジョンの『*MORNING & EVENING*』（*毎日の励ましのためのディボーションの古典*）にあります。8月22日の夕方（エペソ3.8）のために、彼はこう書きました：“私の主人は、算術の計算、理性の測定、想像力の夢、言葉の雄弁を超えた富を持っておられます。私の主は、あなたがたが罪を犯すよりも赦す用意があり、あなたがたの背きの罪も赦すことができになります。**測り知れない大きさ**です。私の主は、あなたが罪を犯すよりも、あなたを赦す用意があり、あなたが違反するよりも、あなたを許す力があります。”

使徒パウロなら、この牧師やスポルジョン師のコメントにアーメンと言うだろう。パウロは、犯した罪や罪に関係なく、神の赦しは合計であることを知っていた。これは、キリストを救い主として受け入れるすべての人にあてはまる。もしかしたら、このOICでは、神の目から見れば殺人である憎しみという罪以外に、仲間を殺したことのある人はいないかもしれません。しかしパウロは、自らを主の民の中で最も小さい者以下と称しながら、無実の人間、最初のキリスト教殉教者ステファノの石打ちの刑に立ち会い、それを承認していました。キリストに生まれ変わった後、パウロはイエスの面前で不信仰となるような罪の兆候を見せませんでした。しかし、パウロはここで、自分のしたことに対する適切な謙遜を示しています。次の箇所でもコリント教会に書いたように。

### **I コリント 15. 9-10**

私は使徒の中では最も小さい者であり、神の教会を迫害したのですから、使徒と呼ばれるに値しない者です。

ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは無駄にはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。働いたのは私ではなく、私とともにあった神の恵みなのですが。

すべての罪人、特に殺人者は、私たちすべてを聖人として生まれ変わらせてくださった神の恵みに深く感謝しています。かつて教会を迫害していたパウロは、福音の奥義と救いの奥義を知り、歴史上初めて異邦人に知らせるといふ素晴らしい特権を知っていました。パウロはまた、イエスのための自分の働きや奉仕が効果的であったとき、真実を述べるのが偽りの誇りや傲慢ではないことも知っていました。そして次に、彼はさらにエペソ教会に異邦人への宣教を次のように説明しています。

### **エペソ 3・10**

これは、今、天上にある支配と権威に、教会を通して神のきわめて豊かな知恵が知らされ

るためであり…

パウロは明らかに、地上の教会の状況が天上の教会に近づき、社会の敵同士が団結するのを見ることに大きな喜びを感じていました。私達もそうです！ヨハネへの黙示録には、次のように書かれています。

### **黙示録 7.9**

その後、私は見た。すると見よ。すべての国民、部族、民族、言語から、だれも数えきれないほどの大勢の群衆が御座の前と子羊の前に立ち、白い衣を身にまとい、手になつめ椰子の枝を持っていた。

親愛なる OIC のクリスチャンたち！ インターナショナルチャーチとして、私達はパウロが異邦人に宣べ伝えたこと、あるいは管理したことを味わっています…そう、聖霊における天国の味を：

すべての国民、部族、民族、言語から、だれも数えきれないほどの大勢の群衆が御座の前と子羊の前に立ち、白い衣を身にまとい、手になつめ椰子の枝を持っていた。彼らは大声で叫んだ。「救いは、御座に着いておられる私たちの神と、子羊にある。」

パウロは、愛する教会とともに神の御座の周りに集められ、大声でこう叫ぶその日を待ち望んでいた。… 私達にもできる！ {実際、なぜ待つのか…。どうか、ここにいるすべての国の人たちが立ち上がってください……。私達が皆、ただ未来に向かって語り、この言葉を叫ぶことができますように：「救いは、御座に着座しておられる私たちの神と、小羊のものである。」どうぞご着席ください。

さて、先週のメッセージで述べたように、エペソ人への手紙は、信仰によって救われたことを説いた励ましの書であると同時に、戦いの書でもあります。エペソ人への手紙 6 章には、霊的な戦いのための神の武具が記されています！ こう書かれているとおりです。

### **エペソ 3.11**

私たちの主キリスト・イエスにおいて成し遂げられた、永遠のご計画によるものです。

これらの支配者は霊的な存在である。パウロはいつも、クリスチャンに自分たちの輝かしい未来を確信するよう勧めていました。彼は説教し、教えたことの模範を生きたのです。

### **ピリピ 4.4**

いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。

しかしパウロは、キリストの兵士としてのクリスチャンの役割も明らかにしています。



## II コリント 2. 11

それは、私たちがサタンに乗りられないようにするためです。私たちはサタンの策略を知らないわけではありません。

### 要点その3

**敵とその戦術を把握しないまま戦いに臨むのは、どんな兵士にとっても賢明ではない。**

主イエスは、サタンに対するご自身の権威を証明するため、また、誘惑者との戦いにおいて私たちと共にあることを十分に感じるために、地上で特に 40 日 40 夜の誘惑の間、罪を犯すことなくサタンに立ち向かわれました。主イエスは、地上の羊たちに彼らの敵を忘れさせようとはされないし、イエスが荒野で彼を打ち負かし、**特に十字架上で彼の頭を打撲されたことを忘れさせようともされない**のです。親愛なる OIC の皆さん、私が説いてきたことは、まさにここに書かれていることなのです。

## エペソ 3. 11

それは、私たちがサタンに乗りられないようにするためです。私たちはサタンの策略を知らないわけではありません。

悪魔に対して臆病な教会からは、神は地上において栄光を得られません！この聖書の箇所は、臆病であることとは正反対のことを言っています。神は教会を通して、**天界の支配者たちや権威者たち**に屈辱を与えるために、ご自分のさまざまな知恵を知らされていると宣言しているのです。墮落した天使たちは、自分たちを神よりも偉大だと呼び、その指導者であるサタンのもとで神と戦ってきました。そして今、サタンは自らを神の聖徒たちよりも偉大だと言っています。しかし聖書は違うと言っています！私たちは生ける神の子であり、サタンとのすべての戦いにおいて、**(ローマ 8. 37)** に書かれています。いいえ、私たちは、私たちが愛してくださった方によって、**これらすべてのことに打ち勝ちます。**

皆さんの席にまだ賛美歌集があればと願います。538 番『When I Can Read My Title Clear』を皆さんで立って歌いたい気持ちです。

これが歌詞ですが、いくつかの節を組み合わせています：

天空の大邸宅へ、私の肩書きがはっきり読めるとき、私はあらゆる恐れに別れを告げ、泣きはらした目を拭おう。大地が私の魂に襲いかかり、火の矢が投げつけられたとしても、私はサタンの怒りに微笑み、しかめっ面の世界に立ち向かうことができる。

邪悪な者と戦うことが、なぜ私たちの主を喜ぶ気持ちを削ぐのでしょうか？私たちが勝利し、**打ち勝つ者以上になる**という確信がないのなら、話は別ですが。私がイエスにあって 2 歳くらいのとき、主との体験のいくつかを疑ってつまずいたことがありました。神の恵みによって、私は教会の定期的な集会だけでなく、地元の教会グループの集会にも毎回出席し続けました。同じように主にある若いクリスチャン女性が、喜びの証しを語ってくれ

ました。彼女はサタンの攻撃を受けていました。彼女はこの箇所を読んで思い出したのです。

### 詩篇 22. 3

けれどもあなたは聖なる方御座に着いておられる方イスラエルの賛美です。

彼女がイエスを賛美していると、彼女を苦しめていた悪魔が逃げていくのを感じました。彼女は大声で神を賛美し、敵は後ずさりしたのです！彼女の証しは、私の心に新しい姿勢をもたらしました。「私の花嫁である教会については、ハネムーン期間は終わったのだよ、ブルース。あなたは私の兵士になることを学ばなければならない。兵士は戦うことを学ぶのです！」

### 要点その4

戦いがなければ、勝利の喜びはほとんどない！

愛する聖徒たちの中には、私が敵に時間を費やしすぎていると考える者もいるでしょう。私の仕事は、勝利者であるイエスに恥じることなく、名誉を与える兵士として戦うことを学ぶよう、皆さんに教えることです。神の意図は、教会が天上界でイエスの敵に果敢に立ち向かうことです。日本のクリスチャン人口は0.5~1.0%程度です。世界のどの国のクリスチャンも、自国を愛するがゆえに、悪魔やその使者と戦いたいと思うならば、それは日本のクリスチャンであるべきだ。私たちは、自分たちのイエスへの従順のためだけでなく、サタンに鎖でつながれている日本の99%の人々の解放のために戦います。私たちが聖書の教え通りに悪魔と戦うことから身を引いてしまうのは、イエスがヨハネ 14. 2-3 の約束を守ってくださるということへの不信仰のためです。

### ヨハネ 14. 2-3

わたしの父の家には住む所がたくさんあります。そうでなかったら、あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったのでしょうか。

わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。

自信に満ちたクリスチャンは知っています。

わたし {イエス} が戻って来て、あなたがたをわたしとともに連れて行きます。その時、讚美歌 538 番が彼らの心に響きます。そうすれば、私はサタンの怒りに微笑み、しかめっ面の世界に立ち向かうことができます。

私は洗礼志願者に、水のバプテスマにおいて、彼らはすでに死んでいることを宣言します。これはまず、私たちの新しい父である神と、救われていない家族や友人に対して宣言することであり、悪魔に対しても宣言することです。イエスの御名によるバプテスマによって、私たちはもはや悪魔の手にはかかりません！

パウロは続けて、宇宙の「大局観」について述べています。

### エペソ 3. 11-12

私たちの主キリスト・イエスにおいて成し遂げられた、永遠のご計画によるものです。私たちはこのキリストにあって、キリストに対する信仰により、確信をもって大胆に神に近づくことができます。

ローマ人への手紙は、これが神の独り子イエスによる罪人の救いであると宣言しています。義認とは、イエスの十字架上の死に基づいて、私たちはもはや罪がなく、私たちの永遠の赦しを買うために義とされるという神の宣言です。私たちの義認は、神の計画に従っています。聖書に啓示されているように、時が始まる前-時の中で-時が過ぎ去った後です。神の永遠の目的もまたローマ書にあるとおりであります。

### ローマ 3. 24

神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、価なしに義と認められるからです。

ここでエペソ 3. 12 に書かれているのは、イエスが十字架上で語った最後の、そして死に際の言葉、「完了した」（ヨハネ 19. 30）の繰り返しである！

### ヨハネ 19. 30

イエスは酸いぶどう酒を受けると、「完了した」と言われた。そして、頭を垂れて霊をお渡しになった。

パウロは今、クリスチャンの祈りの生活... イエスを信じる信仰による神との関係... を励ましています（エペソ 3. 12）わたしたちは主キリストに結ばれており、キリストに対する信仰により、確信をもって、大胆に神に近づくことができます。ここには、クリスチャンが神に近づく方法について、自由と確信という最も力強い言葉が2つあります。神は栄光の御座におられ、私たちはいつでも、どこでも、座っても、立っても、ひざまずいても、顔を伏せても、・・・自由と確信をもって、私たちの罪を取り除かれた小羊であるイエスとともに神に近づくことができます！

祈りましょう。

引用

KJ21- 21st Century King James Version (KJ21) Copyright © 1994 by Deuel Enterprises, Inc.

MORNING AND EVENING - Complete and Unabridged, KJV Edition, Copyright 1991

Hendrickson Publishers Marketing, LLC, P.O. Box 3473, Peabody, Massachusetts  
01961-3473, USA

NIVUK - Holy Bible, New International Version® Anglicized, NIV® Copyright © 1979,  
1984, 2011 by Biblica, Inc., Used by permission. All rights reserved worldwide.